

新 正幸教授 略歴・業績目録

昭和二〇年（一九四五）一二月二四日 奈良県に生まれる

学 歴

昭和三九年（一九六四）三月 奈良女子大学文学部附属高等学校・卒業

昭和三九年（一九六四）四月 信州大学文理学部社会科学科・入学

昭和四三年（一九六八）三月 同 卒業

昭和四三年（一九六八）四月 東北大学大学院法学研究科修士課程・入学

昭和四五年（一九七〇）三月 同 修了（法学修士）

昭和四五年（一九七〇）一〇月 東北大学大学院研究生（一一月まで）

昭和六〇年（一九八五）一〇月 法学博士（東北大学）

職 歴

昭和四五年（一九七〇）一二月 福島大学 助手 経済学部（憲法）

昭和四七年（一九七二）三月 福島大学 講師 経済学部（憲法）

昭和四九年（一九七四）三月 福島大学 助教授 経済学部（憲法）

昭和六二年（一九八七）一〇月 福島大学 助教授 行政社会学部（憲法）

昭和六三年（一九八八）	四月	福島大学	教授	行政社会学部（憲法）
平成 七年（一九九五）	四月	関東学園大学	教授	法学部（憲法）
平成一四年（二〇〇二）	四月	金沢大学	教授	法学部（憲法）
平成一六年（二〇〇四）	四月	金沢大学大学院法務研究科	教授	（憲法）

主要著書・論文等一覽

（著書）

憲法と立法過程	創文社	一九八八年
純粹法学と憲法理論	日本評論社	一九九二年
憲法訴訟論（第一版）	信山社	二〇〇八年
ケルゼンの權利論・基本權論	慈学社	二〇〇九年
憲法訴訟論（第二版）	信山社	二〇一〇年

（論説）

ケルゼンに於ける Rechtsatz 概念の変遷（一）（二・完）

商学論集（福島大学）四〇卷一・二号

一九七一年

有神論的憲法学——カール・シュミットの精神史的方法——

社会科学の方法（御茶の水書房）五卷一一号

一九七二年

（カール・シュミット論集（宮本盛太郎・初宿正典）

編) 所収 木鐸社

一九七八年

政治神学について——西欧国法学における神学性の一考察(一)(二)——

商学論集(福島大学) 四二卷一号

一九七三年

同

四三卷二号

一九七四年

立法過程法の理論——ウィーン法学派の立法過程論の特質とその限界——

社会科学と諸思想の展開——世良教授還暦記念下

(岡田与好・広中俊雄・樋口陽一編) 創文社

一九七七年

法律の実体形成——立法行為の体系試論——

法律時報五〇卷八号

一九七八年

立法条件論

第一部 立法条件総説

第二部 立法条件各説(一)

商学論集(福島大学) 四九卷三号

一九八〇年

商学論集(福島大学) 五〇卷三号

一九八二年

同

(二)

同

五二卷一号

一九八三年

同

(三)

同

五二卷二号

一九八三年

同

(四・完)

同

五二卷三号

一九八四年

第三部 立法条件存否の認定と効果 (一) (二・完)

商学論集 (福島大学) 五三卷一号・二号

一九八四年

清宮憲法学と純粹法学——根本規範論を中心として——

新ケルゼン研究——ケルゼン生誕百年記念論集 (長

尾龍一・新正幸・高橋広次・土屋恵一郎編) 木鐸社

一九八一年

ケルゼン／純粹法学

法学者 人と作品 (伊藤正己編) 日本評論社

一九八五年

立法過程の憲法学的研究——立法過程法学序説——

法学博士学位論文 (東北大学)

一九八五年

法律成立の効果

憲法と行政法——小嶋和司博士東北大学退職記念

(代表編集者・菅野喜八郎・藤田宙靖) 良書普及会

一九八七年

権力分立論——特に現代における変容——

法学教室七六号

一九八七年

(芦部信喜編・憲法の基本問題・所収 有斐閣

一九八八年)

憲法九八条二項立案過程の分析 (一) (二)

行政社会論集 (福島大学) 一卷三・四号、二卷二号

一九八九年

「立法過程学」の可能性

ジュリスト八八五号 (特集・議会一〇〇年と二つの

憲法)

一九九〇年

憲法学の課題と方法について (一) (二) (三)

行政社会論集（福島大学）三卷四号、四卷一・二号 一九九一年

憲法第一〇章「最高法規」の立案過程

憲法制定と変動の法理——菅野喜八郎教授還暦記念

（新正幸・鈴木法日児編）木鐸社

一九九一年

緊急権と抵抗権

講座憲法学Ⅰ 憲法と憲法学（樋口陽一編）日本評論社

一九九五年

憲法の欠缺と憲法改正のけじめ——けじめの欠如と憲法篡奪——

比較憲法学研究八号

一九九六年

地位理論の「修正」？——ケルゼンの「国民の国法に対する関係」の理論——

比較憲法学研究九号

一九九七年

立法過程——議員立法、政府提出立法——

ジュリスト一一三三号（特集：国家の役割と統治構造改革）

一九九八年

ケルゼンの権利論・基本権論（一）

関東学園大学法学紀要一六号

一九九八年

同

（二）

同 一七号

一九九八年

同

（三）

同 二二号

二〇〇〇年

同

(四)

同

二二二号

二〇〇一年

基本権具体化の階層性について——「知る権利」を一つの手がかりとして——

関東学園大学法学紀要一八号

一九九九年

憲法的自由の構造——二つの自由権——

公法の思想と制度——菅野喜八郎先生古稀記念論文

集（新正幸・早坂禰子・赤坂正浩編）信山社

一九九九年

議員立法——理論的見地から——

ジュリスト一一七七号（特集・国家の役割と改革の

行方）

二〇〇〇年

もう一つの議会制像——ハイエクの「一つの憲法モデル」をめぐって——

比較憲法学研究一五号

二〇〇三年

ケルゼンの基本権論（一）

金沢法学四五卷二号

二〇〇三年

同

(二)

同 四六卷二号

二〇〇四年

同

(三・完)

同 四七卷二号

二〇〇五年

基本権の構成要件について

憲法論集——樋口陽一先生古稀記念（藤田宙靖・高

橋和之編）創文社

二〇〇四年

二つの自生的秩序——市場システムと知的秩序のシステム——

金沢法学四九卷二号

二〇〇七年

基本権の構造——「法的様相の理論」の見地から——

日本法学七三卷二号

二〇〇七年

（翻訳）

アドルフ・メルクル著「憲法起草者としてのハンス・ケルゼン」（共訳、共訳者：

長尾龍一）ハンス・ケルゼン（鵜飼信成・長尾龍一

編）東京大学出版会

一九七四年

ハンス・ケルゼン著作集Ⅳ法学論（新正幸・今井弘

道・竹下賢・長尾龍一・森田寛二訳）慈学社

二〇〇九年

カール・シュミット著「政治神学Ⅱ」（共訳、共訳者：長尾龍一）

政治神学再論（長尾龍一・小林公・新正幸・森田寛

二訳）福村出版

一九八〇年

カール・シュミット著作集Ⅱ（長尾龍一編）慈学社

二〇〇七年

ロベルト・ホイザー著「現代中国法の諸形成要因」（独文講演原稿の翻訳）

松平記念 経済・文化研究所紀要一五号（関東学園

大学

一九九七年

(教科書・解説・判例解説等)

「憲法の意味」他一〇項 憲法の基礎(樋口陽一・佐藤幸治編) 青林書院新社
「官吏に関する事務を掌理する」の意味

一九七五年

憲法の争点(小嶋和司編) 有斐閣

一九七八年

同・新版

一九八五年

第一〇章「天皇」、第十一章「憲法保障」

憲法講義Ⅰ(清水睦・吉田善明・高見勝利・鴨野幸

雄・野中俊彦・中川剛・新正幸) 有斐閣

一九七九年

裁判官の良心

憲法判例百選Ⅱ(芦部信喜編) 有斐閣

一九八〇年

同・第二版

一九八八年

同・第三版(芦部信喜・高橋和之編) 有斐閣

一九九四年

同・第四版(芦部信喜・高橋和之・長谷部恭男編)

有斐閣

二〇〇〇年

民事事件の非訟的处理と公開裁判の保障——いわゆる強制調停の違憲性——

憲法の基本判例(樋口陽一編) 有斐閣

一九八五年

同・第二版(樋口陽一・野中俊彦編) 有斐閣

一九九六年

第三講「憲法の保障」、第二三講「国会Ⅰ」、第二四講「国会Ⅱ」および補論5

「元号・国家・国旗」

日本国憲法講義（鈴木法日児編）木鐸社

一九九四年

同・改訂版

一九九五年

唯一の立法機関

憲法の争点（第三版）（高橋和之・大石眞編）有斐閣

一九九九年

立法の不作為に対する違憲訴訟（1）——在宅投票制度廃止事件上告審

憲法判例百選Ⅱ（第五版）（高橋和之・長谷部恭男・石川健治編）有斐閣

石川健治編）有斐閣

二〇〇七年

「政治神学」雑感

カール・シュミット著作集Ⅰ（長尾龍一編）慈学社

二〇〇七年

法律の概念

憲法の争点（新・法学の争点シリーズ3 大石眞・石川健治編）有斐閣

二〇〇八年

（書評）

鵜飼信成・長尾龍一編『ハンス・ケルゼン』（東京大学出版会・一九七一年）

法学セミナー二二七号

一九七八年

高見勝利著『芦部憲法学を読む——統治機構論』（有斐閣・二〇〇四年）

ジュリスト二一九〇号

二〇〇五年